




本山寺宝篋印塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんざんじほうきょういんとう
所在地	美咲町定宗
指定年月日	昭和31年6月28日
解説	「建武二年六月十一日大願主僧覚清」の刻銘により、南北朝時代の建武2年(1335)に造立されたことが知られる。花崗岩製で、総高184cm。反花[かえりばな]座の上に型どおり基礎・塔身・笠・相輪の順に重ね、各部当初のままで保存も良好である。基礎の四面に格狭間[こうざま]を刻み、正面と右側面に冒頭の刻銘がある。塔身の正面は舟形に窪めて仏像を浮彫にし、他の三面には種子[しゅじ]を刻む。笠の四隅の隅飾りはほとんど垂直に立ち、相輪は遅しい。全体に鎌倉時代の作風をよく伝えている。
アクセス方法	JR弓削駅から車で約15分
公開状況	
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	